

セキュリティ更新プログラム (890859) (MS05-018) 適用に関する留意事項

平素は、富士通製品をご愛用いただき誠にありがとうございます。

※ 先般より、IA サーバ PRIMERGY TX200FT (Windows2000 / 2003 タイプ) に一部の Windows セキュリティ更新プログラムを適用した場合の問題についてお知らせしておりましたが、本日公開されました MS05-018 (KB890859) を適用した場合も、同様の問題が発生することがわかりましたので、改めてお知らせいたします。

■ **Windows 2003 タイプの場合**

1 対象型名

PGT20124F2, PGT20126F2, PGT20127F2, PGT20144F2, PGT20146F2, PGT20147F2, PGT20164F2, PGT20166F2, PGT20167F2

※ OS を Windows Server 2003 にアップグレードした以下の機種

PGT20124F, PGT20126F, PGT20127F, PGT20144F, PGT20146F, PGT20147F, PGT20164F, PGT20166F, PGT20167F

2 現象と発生条件

Windows Server 2003 の応急修正 MS05-018 (KB890859) の適用後に、FTvirtual Server が起動しない、CoServer がクラッシュするなどの現象が発生します。発生する現象は、主に以下の通りです。

※ 弊社提供の緊急修正モジュール「PRIMERGY TX200FT(Windows2003 タイプ) Endurance ソフトウェア V6 緊急修正 V1.0L10」(もしくはそれ以降のバージョン)を適用済みの場合は発生しません。

- 両 CoServer は正常に起動しますが、FTvirtual Server が両系とも Fail (故障) 状態になり、起動しない状態になる。また、次のようなイベントログが記録される場合があります。

[イベント一覧 ①]

- The Endurance Kernel Driver detected a failure.
- CoServern.MtcScp status: Failed to load MtcCeb.exe into Virtual Serverx.
- CoServern.MtcScp status: Virtual Serverx failed to initialize.
- CoServern.MtcScp status: Virtual Serverx is failed.
- CoServern.MtcScp status: Virtual Serverx could not be reset.
- ディスクのファイル システム構造は壊れていて使えません。chkdsk ユーティリティをボリューム C: で実行してください。

- 片 CoServer がクラッシュを繰り返し、その後の再起動で、正常に起動する。FTvirtual Server が両系とも Fail (故障) 状態になり、起動しない状態になる。

[STOP コード例]

- 0x0000000a (0x05a00034, 0x00000002, 0x00000001, 0xe0b24ff3)

[イベント一覧 ②]

- アプリケーション ポップアップ: (ファイル名、サービス名など) - 壊れたファイル : ファイルまたはディレクトリ C:\Documents and Settings が壊れており、読み取ることができません。CHKDSK ユーティリティを実行してください。
 - CoServer.MtcComx status: A message-send timeout occurred which has caused loss of CoServer Link redundancy.
 - そのほかに、[イベント一覧 ①] のイベントログ
- 片 CoServer にログオンできない。
[イベントログ一覧 ③]
 - Resolve Partial Assembly が (ファイル名、サービス名など) に失敗しました。参照エラー メッセージ : ファイルまたはディレクトリが壊れているため、読み取ることができません。
 - Generate Activation Context が (ファイル名、サービス名など) に失敗しました。参照エラー メッセージ : ファイルまたはディレクトリが壊れているため、読み取ることができません。
 - DCOM サーバーを起動できません: {73E709EA-5D93-4B2E-BBB0-99B7938DA9E4}。エラー: “このアプリケーションの構成が正しくないため、アプリケーションを開始できませんでした。アプリケーションを再度インストールすることにより問題が解決する場合があります。” は、次のコマンドの起動中に発生しました ::
¥WINDOWS¥system32¥wbem¥wmiprvse.exe -Embedding
 - そのほかに、[イベント一覧 ①] のイベントログ

3 原因

Microsoft 社から提供されている Windows Server 2003 用修正モジュール MS05-018 (KB890859) の適用により、FTvirtual Server の起動処理に不具合が発生するためです。本障害は PRIMERGY TX200FT の FT 機能を制御する Endurance ソフトウェアの障害です。

4 利用者の処置

MS05-018 (KB890859) を適用する前に、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET の PRIMERGY 向けホームページ (<http://www.fmwORLD.net/biz/primergy/>) 内にある「ダウンロード検索」から、緊急修正モジュール「PRIMERGY TX200FT(Windows2003 タイプ) Endurance ソフトウェア V6 緊急修正 V1.0L20」をダウンロードし、適用してください。

5 回避方法

- 5.1 緊急修正モジュールを FT システム (FTvirtual Server, CoServer ともに) へ適用するまで、MS05-018 (KB890859) の適用は行わないでください。
- 5.2 適用してしまった場合は、以下の手順に従って、修正モジュール “KB890859” をアンインストールしてから、緊急修正モジュールを適用してください。
 - ① CoServer1 を起動します。もう一方の CoServer2 は電源断の状態にします。
※ ファイルシステムに異常が発生している場合は、起動時に「chkdsk」が実行される場合があります。
 - ② 「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を開きます。
 - ③ 「Windows Server 2003 ホットフィックス KB890859」を選択後、[削除] ボタンを押します。
 - ④ 削除ウィザードに従い、アンインストール処理を行います。
 - ⑤ [完了] ボタンを押すと、自動的に CoServer が再起動します。
 - ⑥ POST 画面で、CoServer1 の電源をサーバ本体の電源ボタンから切ります。
 - ⑦ ①～⑥の手順を CoServer2 に対して実施します。
 - ⑧ 両 CoServer の電源を、サーバ本体の電源ボタンから入れます。
※ ファイルシステムに異常が発生している場合は、起動時に「chkdsk」が実行される場合があります。
(FTvirtual Server は、Fail (故障) した状態のままとなります)
 - ⑨ CoServer1 上で「スタート」ボタン → 「すべてのプログラム(P)」 → 「Marathon Endurance」 → 「Manager」の順にクリックします。Endurance Manager が起動します。
※ ここで「ホストに接続」の画面が表示される場合は、しばらく待つて [接続] をクリックしてください。
 - ⑩ Endurance Manager 上の「表示(V)」→「CoServer 表示」の順にクリックします。
 - ⑪ Endurance Manager 上の “Virtual Server1” (左側の FTvirtual Server) を右クリックし、「有効化(E)」をクリックします。

- ⑫ FTvirtual Server が片系 (Virtual Server1 のみ) でのみ起動します。
- ⑬ FTvirtual Server 上で「スタート」ボタン → 「コントロールパネル(C)」 → 「プログラムの追加と削除」を開きます。
- ⑭ 「Windows Server 2003 ホットフィックス KB890859」を選択後、削除ボタンを押します。
- ⑮ 削除ウィザードに従い、アンインストール処理を行います。
- ⑯ [完了] ボタンを押すと、自動的に FTvirtual Server が再起動します。(CoServer は再起動する必要はありません)
- ⑰ FTvirtual Server 再起動後に、Endurance Manager 上の “Virtual Server2” (右側の FTvirtual Server) を右クリックし、「有効化(E)」をクリックします。
- ⑱ Endurance Manager 上で、すべてのコンポーネントが濃い緑色の表示になっていることを確認します。(薄い緑色の表示の場合は、濃い緑色の表示に変化するまで、しばらく待ちます)
※ 濃い緑色は正常状態を意味しています。
- ⑲ 緊急修正モジュールを適用してから、MS05-018 (KB890859) を FTvirtual Server、CoServer1、CoServer2 に適用しなおしてください。

■ Windows 2000 タイプの場合

1 対象型名

PGT20124F, PGT20126F, PGT20127F, PGT20144F, PGT20146F, PGT20147F, PGT20164F, PGT20166F, PGT20167F

※ OS を Windows Server 2003 にアップグレードしている場合は、「■ Windows 2003 タイプの場合」を参照してください。

2 現象と発生条件

Windows2000 の応急修正 MS05-018 (KB890859) の適用によって、FTvirtual Server の同期処理が出来なくなる、もしくは FTvirtual Server が起動に失敗する現象が発生し、以下のイベントログが記録されるようになります。

※ 弊社提供の緊急修正モジュール「PRIMERGY TX200FT(Windows2000 タイプ) Endurance ソフトウェア V5 緊急修正#001 V1.0L40」(もしくはそれ以降のバージョン) を適用済みの場合は発生しません。

CoServern.MtcScp status: Virtual FTserver synchronization cannot be performed at this time. Windows is not fully loaded.
The operation will be retried at a later time.

または、

CoServern.MtcScp status: The Windows operating system on the active Virtual Server(s) has been shut down due to a system failure.

3 原因

Microsoft 社から提供されている Windows2000 用修正モジュール MS05-018 (KB890859) の適用により、FTvirtual Server の同期ができなくなる、または FTvirtual Server の起動に失敗します。本障害は PRIMERGY TX200FT の FT 機能を制御する Endurance ソフトウェアの障害です。

4 利用者の処置

MS05-018 (KB890859)を適用する前に、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET の PRIMERGY 向けホームページ (<http://www.fmworld.net/biz/primergy/>) 内にある「ダウンロード検索」から、緊急修正モジュール「PRIMERGY TX200FT(Windows2000 タイプ) Endurance ソフトウェア V5 緊急修正#001 V1.0L40」もしくは、それ以降をダウンロードし、適用してください。

5 回避方法

- 5.1 緊急修正モジュールを FT システム (FTvirtual Server, CoServer ともに) へ適用するまで、MS05-018 (KB890859) の適用は行わないでください。

- 5.2 適用してしまった場合は、以下の手順に従って、修正モジュール "KB890859" をアンインストールしてから、緊急修正モジュールを適用してください。

-FTvirtual Server が起動する場合

- ① FTvirtual Server にログインし、「スタート」ボタン → 「設定(S)」 → 「コントロールパネル(C)」 → 「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
- ② 「Windows 2000 ホットフィックス KB890859」を選択後、[変更と削除(C)] ボタンを押します。
- ③ [完了] ボタンを押すと、自動的に FTvirtual Server が再起動します。(CoServer は再起動する必要はありません)
- ④ CoServer1 上で「スタート」ボタン → 「プログラム(P)」 → 「Marathon Endurance」 → 「Manager」の順にクリックします。Endurance Manager が起動します。
- ⑤ FTvirtual Server のアイコンが、濃い緑色の表示になっていることを確認します。(薄い緑色の表示の場合は、濃い緑色の表示に変化するまで、しばらく待ちます)
※ 濃い緑色は FTvirtual Server が同期していることを意味しています。
- ⑥ 緊急修正モジュールを適用してから、MS05-018 (KB890859) を FTvirtual Server 上に適用しなおしてください。

-FTvirtual Server が起動に失敗する場合

- ① CoServer1 を起動します。もう一方の CoServer2 は電源断の状態にします。
- ② 「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」を開きます。
- ③ 「Windows Server 2000 ホットフィックス KB890859」を選択後、[変更と削除(C)]ボタンを押します。
- ④ 削除ウィザードに従い、アンインストール処理を行います。
- ⑤ [完了] ボタンを押すと、自動的に CoServer1 が再起動します。
- ⑥ POST 画面で、CoServer1 の電源をサーバ本体の電源ボタンから切ります。
- ⑦ ①～⑥の手順を CoServer2 に対して実施します。
- ⑧ 両 CoServer の電源を、サーバ本体の電源ボタンから入れます。
- ⑨ CoServer にログインすると、自動的に FTvirtual Server が起動します。
- ⑩ Endurance Manager 上で、すべてのコンポーネントが濃い緑色の表示になっていることを確認します。(薄い緑色の表示の場合は、濃い緑色の表示に変化するまで、しばらく待ちます)
※ 濃い緑色は正常状態を意味しています。
- ⑪ 緊急修正モジュールを適用してから、MS05-018 (KB890859) を FTvirtual Server、CoServer1、CoServer2 に適用しなおしてください。

(補足)

- ・ IA サーバ PRIMERGY TX150FT S2 につきましては、緊急修正モジュールが適用済みのため、本対処は必要ありません。

(商標および著作権)

Endurance は、Marathon Technologies Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright(c) FUJITSU LIMITED 2005